

## 三重県内経済情勢 (平成 21 年 10 月の指標から)

県内経済は、厳しい状況が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる（生産は持ち直しつつある。個人消費は弱い動きの中にも、持ち直しの兆しがみられる。雇用情勢は厳しい状況が続いている）。

### 1. 概況

#### (生産)

鉱工業生産指数は3か月ぶりに上昇し【図1】、鉱工業製品在庫指数は2か月連続で低下した。

#### (消費)

大型小売店販売額（既存店調整値）は前年同月を1年3か月連続で下回った。【図2】

コンビニエンスストア販売額（富山、石川、岐阜、愛知、三重の5県）は5か月連続で前年同月比減となったが、家電販売額（中部8県）は3か月連続で前年同月比増となった。

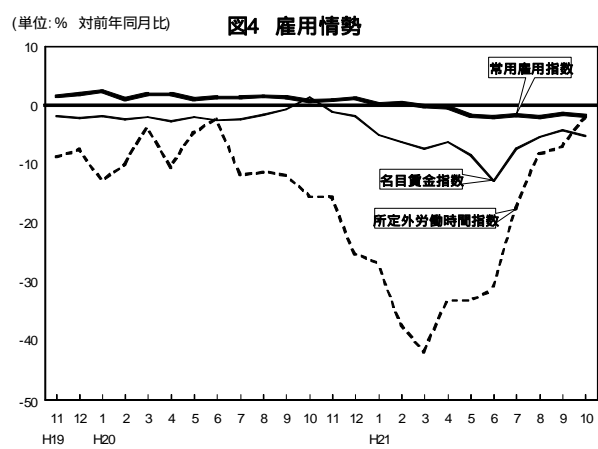
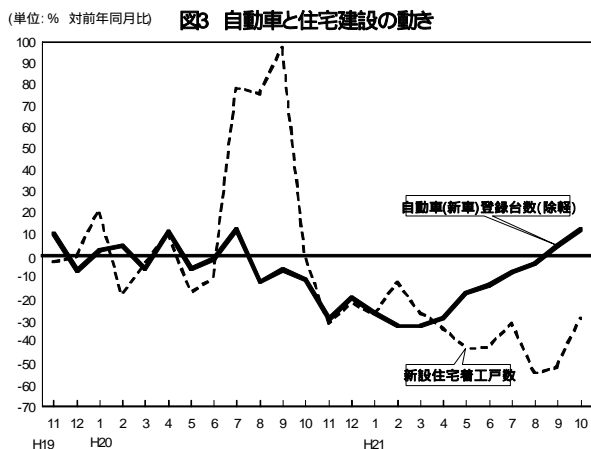
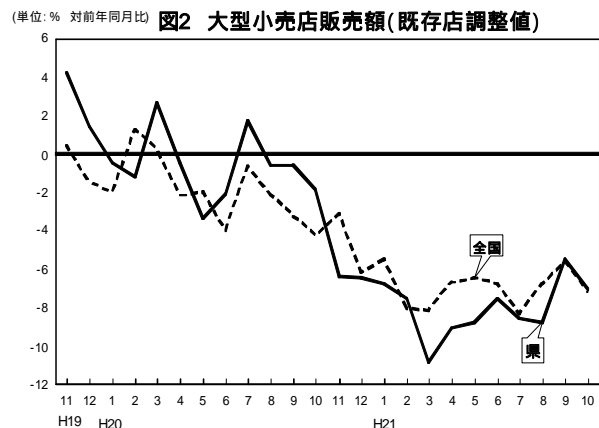
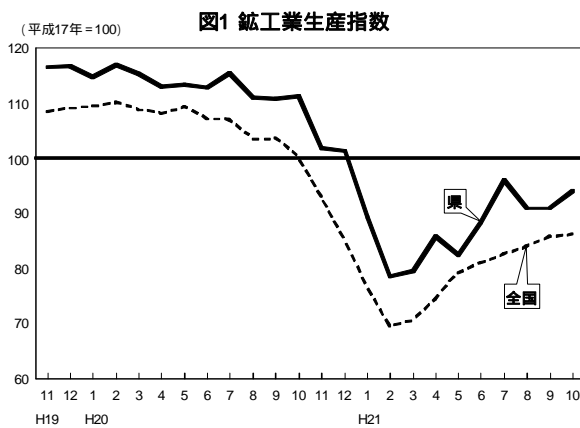
自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は2か月連続で前年同月比増となったが【図3】、軽自動車販売台数は12か月連続で前年同月比減となった。

新設住宅着工戸数は1年1か月連続で前年同月比減となった。【図3】

#### (雇用)

有効求人倍率は0.43倍となり、前月を0.01ポイント上回った。

所定外労働時間指数は2年3か月連続で前年同月比減、常用雇用指数は8か月連続で前年同月比減、名目賃金指数は12か月連続で前年同月比減となった。【図4】



## 2. 主要経済指標の動き

### (1) 生産活動

- ・ 鉱工業生産指数（H17=100）は94.1となり、前月比3.4%増と3か月ぶりに上昇した。
- ・ 県内主要3業種では、電気機械工業（旧分類）（110.5）が前月比1.6%増と2か月連続で上昇し、輸送機械工業（85.1）も前月比1.8%増と3か月ぶりに上昇した。化学工業（74.5）は前月比7.9%減と2か月連続で低下した。
- ・ 鉱工業製品在庫指数（H17=100）は95.6で、前月比6.0%減と2か月連続で低下した。（電気機械工業（旧分類）は、日本標準産業分類（平成14年3月改定）の「電気機械工業」「情報通信機械工業」「電子部品・デバイス工業」をまとめたものです。）

	7月	8月	9月	10月
鉱工業生産指数	8.7	-5.2	0.0	3.4
（電気機械工業：旧分類）	3.7	-6.2	3.4	1.6
（輸送機械工業）	9.6	-16.2	-0.2	1.8
（化学工業）	2.4	4.1	-2.4	-7.9
鉱工業生産指数（全国）	2.1	1.6	2.1	0.5
鉱工業製品在庫指数	-4.9	2.6	-1.5	-6.0

### (2) 個人消費

- ・ 県内の大型小売店販売額（既存店調整値）は、前年同月比7.1%減と1年3か月連続で前年同月を下回った。
- ・ コンビニエンスストア販売額（富山、石川、岐阜、愛知、三重の5県）は5か月連続で前年同月比減となったが、家電販売額（中部8県）は3か月連続で前年同月比増となった。
- ・ 自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は前年同月比12.6%増と2か月連続で増加したが、軽自動車販売台数は前年同月比8.4%減と12か月連続で減少した。全自動車では前年同月比4.3%増と2か月連続で増加した。

（前年同月比：％）	7月	8月	9月	10月
大型小売店販売額（県内既存店）	-8.6	-8.8	-5.5	-7.1
〃（全国既存店）	-8.4	-6.8	-5.6	-7.2
コンビニエンスストア販売額（5県全店）	-6.2	-4.3	-3.1	-2.8
家電販売額（8県全店）	-4.9	3.5	2.7	7.5
自動車（新車）登録台数（県内）	-7.7	-3.6	4.7	12.6
〃（全国）	-4.2	2.3	3.5	12.6
軽自動車（新車）販売台数（県内）	-2.1	-8.6	-7.1	-8.4
〃（全国）	-7.2	-5.1	-5.9	-8.9
自動車・軽自動車 合計（県内）	-5.7	-5.7	0.2	4.3
〃（全国）	-5.2	-0.5	0.2	4.4

### (3) 住宅建設

- ・ 新設住宅着工戸数は1,024戸となり、前年同月比29.8%減と1年1か月連続で減少した。

（前年同月比：％）	7月	8月	9月	10月
新設住宅着工戸数	-31.9	-55.0	-52.1	-29.8
（参考）（持家）	-6.6	-28.1	-28.5	-9.3
（貸家）	-48.1	-75.4	-66.3	-38.9
（分譲住宅）	-28.8	-36.8	-69.3	-38.3

#### (4) 公共工事受注（1件500万円以上の工事：発注者別請負契約額）

- ・ 公共機関からの建設工事受注工事額は122億7千5百万円となり、前年同月比30.2%増と2か月連続で増加した。
- ・ 「国の機関」からの受注工事額は26億2千1百万円となり前年同月比15.7%増と2か月連続で増加し、「地方の機関」からの受注工事額も96億5千4百万円となり前年同月比34.8%増と7か月ぶりに増加した。

(前年同月比：%)	7月	8月	9月	10月
受注工事総額(県内)	-52.2	-28.7	27.5	30.2
国の機関	-61.1	-41.5	308.2	15.7
地方の機関	-43.1	-22.5	-28.4	34.8
受注工事総額(全国)	-3.9	0.2	26.7	-17.3

#### (5) 雇用情勢

- ・ 有効求人倍率は0.43倍となり、前月を0.01ポイント上回った。
- ・ 所定外労働時間指数は前年同月比2.2%減となり、2年3か月連続で低下した。
- ・ 常用雇用指数は前年同月比1.8%減となり、8か月連続で低下した。
- ・ 名目賃金指数は前年同月比5.2%減となり、12か月連続で低下した。
- ・ 完全失業率(全国値)は5.1%となり、前月より0.2ポイント低下した。
- ・ 三重県の完全失業率(モデル推計値)は7~9月期で4.9%となり、前期(4.2%)に比べて0.7ポイント上昇した。

(前年同月比：%)	7月	8月	9月	10月
有効求人倍率(三重県、倍)	0.39	0.41	0.42	0.43
" (全国、倍)	0.42	0.42	0.43	0.44
所定外労働時間指数	-17.7	-8.3	-7.2	-2.2
常用雇用指数	-1.7	-2.1	-1.5	-1.8
名目賃金指数	-7.4	-5.4	-4.3	-5.2
完全失業率(全国)	5.7	5.5	5.3	5.1
(参考)完全失業率(三重県:モデル推計値)	4.9(7-9月期)			

#### (6) 企業倒産

- ・ 企業倒産は12件発生した。負債総額は19億3千7百万円(前年同月比52.6%減)と3か月ぶりに前年同月比減となった。

(%：前年同月比)	7月	8月	9月	10月
企業倒産件数(件)	8	11	17	12
負債総額(%)	-35.5	26.6	100.3	-52.6

#### (7) 消費者物価

- ・ 消費者物価指数(H17=100)は101.0で、前月比は0.6%下落、前年同月比では2.4%下落した。

(前月比・前年同月比：%)	7月	8月	9月	10月
消費者物価指数(4市平均)	-0.7	0.6	0.1	-0.6
"	-2.4	-1.7	-1.9	-2.4
" (全国)	-0.3	0.3	0.0	-0.4

### 3. 景気動向指数（CI 指数）

- 一致指数（景気の現状を示す指標）は 56.0 となり、前月と比較して 1.2 ポイント下降した。一致指数からみる県内経済の基調は、上方への局面変化を示している。

DI 指数は、景気判断の分かれ目となる 50%ラインを 5 か月連続で上回り 57.1%となった。

（ 前月差：ポイント）	7月	8月	9月	10月
CI一致指数	4.4	-1.3	5.9	-1.2
3か月後方移動平均	3.0	2.6	3.0	1.1
7か月後方移動平均	-0.9	0.6	2.2	2.4
DI一致指数（%）	71.4	64.3	85.7	57.1

- 先行指数（10月時点よりも半年程度先の景気を示す指標）は 100.9 となり、前月と比較して 12.0 ポイント上昇した。DI 指数は、景気判断の分かれ目となる 50%ラインと同じ 50.0%となった。

（ 前月差：ポイント）	7月	8月	9月	10月
CI先行指数	10.8	-4.1	-2.3	12.0
3か月後方移動平均	6.1	2.8	1.5	1.9
7か月後方移動平均	1.2	1.8	2.0	4.1
DI先行指数（%）	66.7	50.0	41.7	50.0

